

福 井 県 医 師 会

だより

第646号 平成27年(2015)4月



春うらら

鯖江市 清水 元博

表紙写真説明：春うらら

鯖江市 清水 元博

遅い春を迎えた奥越・勝原付近の風景です。

この場所は、越美北線の線路沿いに「はなもも」が咲き誇り周囲に広がる菜の花畑と相まって、うららかな春の訪れを撮影できるポイントです。

撮影当日は、3脚を立てる場所がない程大勢のアマチュアカメラマンが集まっていたので、少し遠方から菜の花畑を中心に春の雰囲気表現しました。

醫 縫 録

がんの早期発見と福井県の施策

福井県健康福祉部健康増進課長 宮 下 裕 文



桜花爛漫の候、会員の皆様には益々御清祥のこととお慶び申し上げます。日頃、福井県の保健医療政策に格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、福井県では、平成25年3月に「第2次がん対策推進計画」を策定し、予防・早期発見・治療日本一を目指し、県民のがん検診受診率50%超を1つの大きな目標として政策を進めています。御蔭をもちまして、福井県の受診率（70歳未満）は、現在45.3%（平成25年度）と毎年着実に増加しております。

これまで、福井県では、がんの早期発見対策として様々な施策を講じてまいりました。平成22年度には全県下で受診券と個人負担金を統一し、どの市町の医療機関でも等しく県民が検診を受けることができる体制を整備しました。

受診勧奨の面では、市町の受診券発行等による個別勧奨（コール）に加え、平成23年度からは受診勧奨センターを設けて、全県下の未受診者に対して再勧奨（リコール）を実施しております。

このように、全国でも先進県として注目を集める施策が実現できましたのも、福井県医師会をはじめ会員の先生方の御尽力・御協力の賜物であり、重ねて心より御礼申し上げます。

さて、福井県における目下の対策のポイントは、多忙な働き世代の人に、精密検査を含め、如何により受けてもらうか、受け続けてもらうかです。

このため、昨年度から受診機会の拡大を図るべく、土日の集団・個別検診を「休日レディースがん検診」と銘打って積極的な受診促進を図っております。

また、職域で働く女性の受診機会を増やすため、乳・子宮がん検診の実施事業所を対象に検診費用を助成する制度もスタートさせました。

さらに、受診者の検診機関へのアクセス確保の面でも、がん情報ポータルサイト「がんネットふくい」（健康管理協会）の開発を支援し、平成25年度から運用を開始しております。

このシステムが受診者にさらに活用されるよう、県としても支援してまいりますので、会員の

皆様にもタイムリーな記事掲載や予約機能の活用の面で御協力をお願い申し上げます。

また、昨年度、広く有識者の御意見を伺う場として、医療、職域、行政の代表者で構成する「福井県がん検診受診率向上対策協議会」を立ち上げました。

この協議会では、医療機関の先生方の御協力が欠かせないという認識のもと、市町受診券の利用促進策、産業医を通じた検診の呼び掛け、特定健診との同時受診の推進などの点で、貴重な御意見をいただいております。

一方、厚生労働省の「がん検診のあり方に関する検討会」でも国内外の知見に基づき、現在、検診方法等の検討や効果の検証が進められております。

検討会では今夏を目途に報告書を取りまとめ、その提言を受けて、国はがん検診指針の改正を行う見通しを示しています。引き続き、国の動向を注視していきたいと考えております。

さて、今回の主題からは少し離れますが、がん登録制度についても触れたいと思います。御承知のとおり、平成28年1月からがん登録推進法が施行され、全国がん登録制度がスタートします。これにより、全ての病院に都道府県へのがん情報の届出が義務化されることとなります（診療所は開設者の同意を得て都道府県が指定することとなります）。県としましても、今後、研修会等を通じて制度の周知を図ってまいります。

福井県のがん対策は、検診の推進のほかにも禁煙等の予防対策や治療環境の整備、患者支援など多岐にわたっております。今後とも福井県医師会の先生方の御協力をいただきながら、「健康長寿福井」をさらに推進すべく尽力してまいりますので、引き続き御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。